



# むすび便り

# 2020年12月号

## ～畑も人も冬支度～

朝、畑に行くと、地面が霜で真っ白になっている日も増えてきました。霜の降りた野菜は太陽があたると光り、とてもきれいです。寒い年には12月でも地面がカチコチに凍り、5センチ厚の土の板をパキパキと割ってターサイを収穫した年もありましたが、ここ数年はそんな年はなく、暖冬になってきています。風も冷たくなってきて、芋を干したり、柿を干したり、そのうち切り干し大根も、とスタッフ間でも冬に向けて食べ物の貯蔵の話が増えてきました。畑では、あちこちに穴を掘って野菜を埋めたり、玉ねぎを倉庫にとりいれたり、畑の野菜には不織布などをかけたりしています。野菜も人も冬ごもりの準備ですね。今年度は初めて1月に2週間出荷をします。無事にお届けできるように、1月の選抜メンバー（寒さに強い野菜たち）や貯蔵方法を検討しています。いつの間にか師走。今年もお世話になり本当にありがとうございました！みなさま、よいお年をお迎えください。

### 農家の12月

寒さが厳しくなってくる12月は、畑の支柱などの片付けや、防寒用の不織布を野菜にかけたり、大豆を収穫したり、穴を掘って埋める貯蔵作業などを行います。来年の踏み込み温床用に落ち葉を集めたり、籾殻を燃やして薫炭をつくったり。畑では、寒さに強い野菜だけが残り、外側は凍ったり解けたりを繰り返しますが、芯まで凍らないように、自ら発熱して、甘みが増してきます。



里芋の種芋(親芋)を貯蔵する穴。1メートルよりも下に埋めれば、凍らずに翌春まで生きています。



冬にはかかせない&無農薬で難しい野菜の一つ、白菜。結球するに地力があるのと、虫が大好き



霜で凍った葉に陽光があたり、キラキラ。溶ける前の一時の風景。



### 雪の妖精。

11月の終わり、ある晴れた日にふわふわと白いものが舞っていました。雪？よく見ると羽があって、体に白い棉の様な蠟物質をまとっています。まるでバレリーナのチュチュのよう！その正体は冬の到来を告げる「雪虫」です。小さな可愛い虫ですが、実はアブラムシの仲間だそうです。「雪虫が飛ぶと雪が降る」と言われている通り、翌朝は北アルプスの手前の山が雪化粧しました。予知能力?!いえいえ、しっかり温度変化や日照時間を察知しているのです。凄いですね～。このご時世だからこそ、もっと自然界に目を向けたいものです。皆様良いお年を☆(瀬川)

